

ギカイレポート

議会運営委員会



《報告書》

行政視察

1月18日 ▶ 1月19日

委員長の
ひとこと



横須賀市議会(神奈川県)

テーマ「通年議会における議会運営」

横須賀市議会では、請願や議員提案の臨時議会開催の請求は現在のところないが、臨時議会として開催した場合には、少なくとも議会事務局を含めた職員の負担になることが分かりました。

また、通年会期制の導入前に想定していなかったことを、導入後に決めたこともあり、所沢市議会として職員の負担軽減のためにも、議員からの臨時議会請求の提出要件や出席要求など、ルールを決めていくことが必要だと思いました。



精華町議会(京都府)

テーマ「通年議会における議会改革、委員会における政策提言、予算決算常任委員会」

精華町議会では、年間スケジュールを議会側で決定することでした。議長に招集権があるため、議会と執行部との調整は事前にある程度必要だと感じました。

また、精華町議会は本市と同様に議会改革に熱い思いを持ちながら取り組まれていることが、質疑後の意見交換として行った討議を通してよく分かりました。

総務経済常任委員会



《報告書》

行政視察

1月23日 ▶ 1月25日

委員長の
ひとこと



鹿児島県庁

テーマ「庁舎の民間利用、地域の課題解決への取組」

鹿児島県庁18階の「かごゆいテラス」での取組は、所沢市役所8階の空きスペースでも応用できる可能性があるものと思われます。また、所沢市役所は、鹿児島県庁よりも最寄り駅に近い点においても優位性があると感じました。



鹿児島市(鹿児島県)

テーマ「官民連携プラットフォーム」

鹿児島市では、民間の知見を活用することで、よりよい行政サービスの提供を目指した「官民連携プラットフォーム」により、手ぶら登園やCO₂排出量削減、公民共創コーディネート業務などの実証実験が行われています。令和5年度に公民連携推進室を新設した本市としても、今後参考にすべき事業であると感じました。



久留米市(福岡県)

テーマ「株式会社ハイマート久留米との連携」

久留米市の事例は、ワルツビルのある本市にとって参考になりました。また、西鉄久留米駅とJR久留米駅の両駅間は、西鉄バスが1日1,000本通り、大動脈の役割を果たしています。地域公共交通である西鉄バスの存在が、ハイマート久留米の様々な事業の土壌作りとして機能し、町を挙げての連携が重要であると改めて痛感しました。



市民文教常任委員会



《会議録》



《報告書》

委員会審査

1月19日

所沢市における特別支援学級の充実について

参考人

共立女子大学家政学部児童学科
渋谷区教育委員会特別支援教育係
さかもと じょうじゅ
坂本 條樹さん



今、学校に求められているのは、
すべての子どもがそれぞれの必要な支援を受けて、一緒に学ぶこと

- 誰もが分かりやすい授業の工夫
- 個別の教育支援計画・指導計画
- ICTの活用や合理的配慮
- 障害特性の理解
- 通常の学級でできる支援策
…学級担任等に求められる

委員



保護者の希望には、「通常の学級で一緒に学ぶ指導」か「専門性のある指導」の両方があるが、それぞれのニーズへの対応は。



保護者の意向を尊重して、通常の学級か特別支援学級への通学を決定します。
科目によっては通常の学級で学習できる自閉症・情緒障害の児童生徒もいるため、それぞれの学級との交流も重視しています。

学校教育部

行政視察

1月24日



和光市立本町小学校
(埼玉県)

テーマ「つばさ学級(難聴特別支援学級)」

委員長の
ひとこと

本委員会では特別支援学級の充実をテーマに取り組んでいますが、本市では現状として、難聴特別支援学級は設置されていません。今回、授業の見学や、校長先生とのヒアリングにより、新たな認識を得ることができました。本市でもいくつかのニーズはあると考え、今後の取組に活かしていきたいと考えます。



政策討論会 2月3日

《当日の動画はコチラ》



『市民の声をどう政策につなげるか？ ～市民から議員になって～』

ファシリテーター



石本 亮三

初めて議員になって感じたこと、議会活動で直面した困難、1期目の議員だからできることなど、新人議員5人が自身の体験談を交えて意見を述べました。

座長



花岡 健太

イノベーション(革新)を起こすのは若者。若い世代の意見を市政に反映する仕組みづくりを提案していく。

車椅子ユーザーの視点で、建物などはもちろん、意識などのソフト面のバリアフリーの啓発活動を進めていく。

副座長



斎藤 由紀

政策実現のため、一般質問で取り上げるほか、スタンディング活動等で訴えていく。

前田 浩昭

実現したい事業を研究し、実現に必要なことや反対意見を理解した上で、論理的に意見を述べていく。

防災・減災の推進に向け、防災士の資格を取得して豪雨対策・災害時要支援者対策に取り組んでいく。

長谷川礼奈

大久保竜一